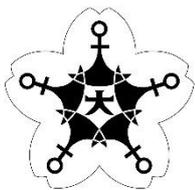


学校教育目標「一人ひとりが生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた自立した子の育成」



大積小だより

令和7年6月18日

第14号

北九州市立大積小学校

校長 古澤 律子

電話 341-8296

愛・アイデア・アクション!

紫陽花に 雫あつめて 朝日かな

加賀千代女

(雨上がりの朝、紫陽花の花が美しかった。まるで朝日が紫陽花の花びらに雨水の滴を集めたかのようにでした。)

雨の日が続いていますが、上記の詩のように、校内の紫陽花が見事に咲き誇ってきました。雨が続くと、何となく気持ちも沈みがちですが、この紫陽花は、雨の中でもひととき見た人の心を明るくしてくれる気がします。紫陽花の別名は「七変化」というそうです。言うまでもなく、花の色が様々に変化するからでしょう。そういった意味で、梅雨のこの時期、人々が愛でたくなる、飾りたくなるのかもしれませんが。

土の酸性度で花の色が決まるといわれている紫陽花のみならず、植物にとって、土は文字通り「土台」です。子どもの育ちも、似たところがあるのかもしれませんが。植物でいう葉を茂らせたり、花を美しく咲かせたりするために、土が大切であるならば、子どもの育ちに関わる「土台」はどのようなことになるのでしょうか。

私は、経験(体験)と習慣、そして安心感だと考えます。多くの人やものに関わる、まずは失敗してもやってみることの繰り返しが必要で小学生では必要です。うまくいかないこともまた、大切な経験です。あきらめずにやり遂げる、失敗してもくじけない子を育てたいと思います。そして、習慣。基本的な生活習慣や学習習慣を丁寧に指導しながら獲得させることは、後の大きな財産となります。学習意欲が大切だとよく言われますが、意欲そのものに働きかけることは短期になりがちで、「習慣が意欲を生む」ことにつながるそうです。最後に安心感。自分が愛されている、大切にされている、見守られていることを実感すると、きっと子どもたちは次のステップ(新しいチャレンジ)に進めるはずで、子どもたちの確かな、そして豊かな「土台」が築かれるよう、学校と家が両輪となってともに子どもたちと関わりたいと考えます。紫陽花のように、どのような色を付けるのか10年後を想像しながら。



校内の紫陽花

第1回代表委員会

6月10日、第1回代表委員会を行いました。新年度になって、4年生が新しく出席しました。今回は「1年生から6年生まで協力してできる活動」を皆で話し合いました。学級の代表として、4年生でも臆さず意見が言えている姿が見られました。議長さんをはじめ、司会団の子どもたちは、これまでの経験をもとに、6年生がリードしながら、会が進んでいきました。

高学年の児童が計画や運営を通して、リーダーとしての経験を積んだり、高学年としての自覚や自分への自信を高めたりできるようにすることが大切です。高学年の児童の役割や責任、役割を果たすための努力について学ぶ貴重な場となっています。





火災を想定した避難訓練

6月11日、避難訓練を行いました。給食室から火災が発生した場合を想定した避難訓練です。安全な行動の約束を確認して、静かに訓練を行うことができました。火災発生放送があつてから、わずかな時間で避難後の安全確認までできました。

定期的な訓練に加えて、次の二つが重要です。

1. 日常生活で行っていることを、真摯に取り組み続けるということ
例えば、校内放送が始まったら静かにして耳を傾けること、教室を移動するときは、静かに速やかに行うことなどです。

2. 自分で考えて判断できる子どもを育てること

今回は、学習中だったので、先生の指示に従って、素早く行動し運動場に避難しました。災害は休み時間に起こる可能性もあります。登下校中も考えられます。その場合、「火から遠ざかる」ことなどを子ども自身が理解して、最初の判断をすることができるように、防災の学習を続けていくことも必要です。この訓練を子どもたち自身が振り返り、「自分の命は自分で守る」ことができるように、判断力や行動様式等を高めていきます。



5年生 社会科見学

6月9日、5年生が日産児童車九州工場と日本製鉄九州製鉄所に見学に行きました。自動車工場では、車の製造ラインを、九州製鉄所では、鉄が作られるまでの工程を見学しました。真っ赤に溶けた鉄が溶鉱炉から出てくるところや赤い鉄が薄く延ばされるところなどを見学しました。



日本製鉄九州製鉄所



日産自動車九州工場

6年生 体験学び充実大作戦!

6月13日、6年生が、小倉城、平和のまちミュージアム、水環境館に見学に行きました。この「体験学び充実大作戦」とは、子どもたちに体験活動を重視した教育活動を推進するために、今年度より各学校で、体験計画を立てて実施するものです。大積小学校では、6年生が実施することとしました。6年生は、社会科や修学旅行などで歴史や平和について学ぶ学年です。平和のまちミュージアムでは、見学したことをもとに、平和についての自分の考えを深めました。



小倉城



水環境館